

私、緑のヒーローになります

新曾北小学校 六年 菅 夢美

私は、昨年から市民ミュージカル「ザ・リバー」に出させていただいています。今年の話はおとしから続いている物語で今年は総集編です。あらすじは、人間が河をよごしてカワウソの好物が減っていった。領地を増やすためにカワウソはカッパの国を攻め、戦争になる。水神様がその様子を見て、戦をしませ、水の民達は仲良くなる、という物語です。私は昨年、カワウソ役でした。自分が演じることで人間への思い、他の生き物に伝わっていくえいきょうが身近に感じました。私達は、自分が人間という種類の生き物だから、人間は生き物の中で「一番えらい」、「一番強い」と思っているけど、カッパの世界ではカッパが一番、花の世界では花が一番というように自分の種類が一番だと思っていると思います。そして、人間にあこがれ尊敬するどころか、自分達を苦しめる敵だと思われていると思います。

私が出始める三年前から市民ミュージカルは始まりました。一、二年目は荒川の歴史を元にした話。昔、戸田は雨が降り続いて止まない村でした。住んでいる人達はそれを「水神様の怒り」と考え、村のむすめを人柱にして河にしず

めた、そんな話です。この話を、今もミュージカルを続けている子に聞いて、私は今と昔の差について考えさせられました。昔は家を守るため、田畑を守るため、そして大切な人を守るため、子供でも自分のことを後にして、力をつくしていました。でも今は、機械や自分の手で土地をよごし、そのことに背を向け力をつくそうともしません。

私は今がきらいではありません。でも昔の時代を生きてはいないのになつかしみたくなるのです。自分の住んでいる戸田をもっと好きになれるように、自分達で変えていかなくちやと思います。そのために人間はやる必要があります。

一、まず生き物にあやまろう。

「今までゴメンネ」と花に水をやるのもいいし、ゴミ拾いするのもいい。とにかくあやまり、喜んでくれそうなことをしよう。

二、次に生き物のすみやすい環境をつくろう。

やるのはこの市に住んでるみんな。

「私はよごしてないわ」、「俺は忙しいんだ」って人に押しつけちゃダメ。身近なことをやるだけで変わる。例えば水の無だ使いをしないとか。

三、そして二つともできた人は、生き物に心の手を差し出そう。心は通じるから。ウソつかずに本当の心の手と手がつな

がれば、本当の幸せにたどりつけると思います。

みんなが笑顔でいられるように、輝く未来のために、みんなが今からできることをもつと考えて、活動したくて、私は緑を創るヒーローになります。

そこの君、今日から君も緑のヒーローだ。